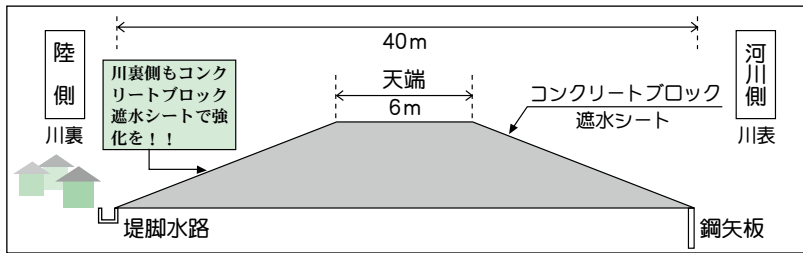


決壊しない安心な堤防を!!



鬼怒川緊急対策プロジェクトの堤防整備の問題点について



堤防断面図

議員
今回、国は「鬼怒川緊急プロジェクト」として、総事業費約580億円、6年をかけて堤防整備を行う。このプロジェクトでつくる堤防は、川表のり面をコンクリートブロックで覆って、遮水シートも張る。昨年と同じ水量には耐えられるというが、昨年よりも多い雨に見舞われて越水するとどうなるか。越水した水の圧力がのり面を掘って、

崩れて決壊してしまう。ぜひ裏のり面にもコンクリートブロックと遮水シートを設置してもらいたい。そうすれば、越水しても長期間耐えることができ、流水量が減ってくれば決壊しないで済む。常総市から出て行った方に、「もう安心だから常総市に戻っておいで」と言えるような堤防をつくってもらいたい。市を挙げて国交省に要望すべきと考えるが。

都市建設部長
鬼怒川下流域の7市町が構成する期成同盟会で検討する形になるかと考えている。

議員
一番被害を受けた常総市がまず声を上げてほしい。三坂地区は6月ごろまでに完成予定と聞いているが、若宮戸地区についてはどうか。

都市建設部長
現在、用地取得のための調整中で、調整が済み次第、工事に着手すること。工期は6ヶ月程度と国交省から聞いている。

議員
ぐずぐずしていたら台風の時期に間に合うかわからない。用地買収も工事も同時進行でお願いしたい。

□ 殿 園 園 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 園 園



避難所での対応に感謝

社会体育施設への「指定管理者制度」導入後の成果について

議員

27年4月から社会体育施設への指定管理者を導入したが、昨年9月に発生した水害により、指定管理施設である水海道総合体育館、石下体育館ともに避難所となった。水害発生時から避難所解除までの間、指定管理者であるミズノグループにおいては、24時間体制で避難所業務を行ったと伺っている。非常にありがたいことである。業務がでない間、ミズノグループの事業活動はどうだったか。

教育部長

避難所運営の補助として人員を配置し、市職員の補佐として災害対応に従事していただいた。特に、災害発生時には、ずぶ濡れで避難してきた被災者に、施設内の物販商品である衣服や靴を即時に提供していただいたことには感謝をしている。避難所閉鎖後の12月には、市内中学・高校野球部を対象に野球道具のメンテナンスボランティアを実施していただいた。さらに現在、復興応援プロジェクトとして、

市内小学校では、教育委員会・体育協会・スポーツ少年団主催で、ミズノ独自の運動プログラム「キッズヘキサスロン※」を実施している。スポーツが苦手な児童でも参加する意欲が拡大できるものと期待している。

議員

小学校単位でやっているのか。

スポーツ振興課長

被災した川東地区の小学校、川西地区で豊岡小・岡田小で実施している。非常に好評で、今後も体育の授業に組み込みたいという要望もある。

議員

西のほうもぜひこういう子どもたちが喜ぶような、体力づくりができるようなキッズヘキサスロンを実施してもらいたい。



※キッズヘキサスロン…運動が苦手な子どもでも走る、跳ぶ、投げるなど基本的な動作を自然と身につけられる運動遊びメニューと運動能力測定を組み合わせたプログラム。